

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生活支援サービス体制整備事業			会計	款	項	目	大専	小専
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課					
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	石井 由美子					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上	意図	高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進する。
事業内容	生活支援コーディネーターを中心として、生活支援・介護予防サービス提供者等が連携し、地域のニーズ、資源把握や生活支援の担い手の養成、サービスの開発等を行っていくことで、高齢者を支える体制づくりを推進していく。			
事業開始から現在までの状況変化	平成27年度の介護保険制度改正により、包括的支援事業のひとつとして創設されたもの。平成27年度当初より、地域における多様な取り組みのコーディネート機能を担う「生活支援コーディネーター」を委嘱するとともに、地域のマンパワーを活かすために「生活支援サービス従事者研修」を実施し、担い手の養成を行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	生活支援サービス従事者研修開催回数	5	5	3	回	→→
②	生活支援サービス従事者研修受講者数	69	59	29	人	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	7,773,200	3,805,926	3,598,400
事業費(b)(円)	243,200	287,476	242,400
うち一般財源			
職員給与と費(c)(円)	7,530,000	3,518,450	3,356,000
人役・職員(人)	1.00	0.50	0.50
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)		0.05	
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

・生活支援サービス従事者研修を3回実施し、受講者は29人であった。
 ・生活支援サービス従事者研修を受講したが、サービス提供事業所への登録につながらない者もいることから、実際の活動へつながるようなサポートが必要である。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	生活支援コーディネーターによる、地域の支え合いの仕組みづくりのための検討の場を設ける。生活支援サービス従事者研修受講者が、指定事業所への登録につながらないようにする。	③取組の課題	生活支援コーディネーターは社会資源や支援ニーズの把握に努めたが、地域の課題は明確に抽出されていない。生活支援サービス従事者研修受講者が指定事業所の登録につながらない。
②今年度(H29)に実施した取組	コーディネーターが地域ケア会議等地域課題を把握できる場に参加し事例検討や情報共有を行った。生活支援サービス従事者研修受講者が指定事業所から直接情報を聞く機会を設けた。	④今後(H30以降)の改善計画	コーディネーターとともに地域資源の整理をする。地域ケア会議に参加し各包括とともに地域課題に取り組む。生活支援サービス従事者研修受講者が地域の担い手になるようにする。